

# 昭和57年度 和歌山県文化功労賞

や た あき こ  
矢 田 暎 子

住 所：大阪府高槻市

出 身 地：和歌山県和歌山市

生 年：大正11年

## ◎業績及び経歴

幼少時代から母(内田文、昭和54年度県文化功労賞受賞)に厳しいピアノ教育を受け、その後、井口基成氏に師事。

昭和14年和歌山県立高等女学校4年修了後、同年、東京音楽学校(現、東京芸術大学)予科器楽科(ピアノ専攻)に入学。その後、本科、研究科と進んだが、本科卒業に際しては安宅賞を受賞し、第14回全日本新人演奏会(昭和17年、読売新聞社主催)に出演する。

昭和18年から、相愛女子音楽専門学校(現、相愛大学)講師、昭和28年同助教授、昭和33年同教授となる。その間、NHK放送、ABC放送の定期演奏者として「私達の音楽」「音楽のしおり」「NHK土曜コンサート」「ABCリサイタル」等に出演、各地で演奏活動を続けた。

昭和45年11月、和歌山県民文化会館開館記念演奏会に京都市交響楽団(若杉弘 指揮)と共演し絶讃を博する。

また、昭和54年からは「スコーピオ」を主宰し、毎年発表会を開催するなど、若い音楽家の育成に努めているほか、和歌山音楽教室々長として本県の後進の指導にも力を注ぎ、和歌山県民文化会館主催のクリスマス・チャリティー音楽会にも連続参加している。

現在、和歌山で活躍中のほとんどの中堅演奏家を育てている。